

1. 科目名 (単位数)	心理学統計法／心理統計法 (2 単位)	3. 科目番号	SPMP1120
2. 授業担当教員	三好 一英		PSMP1120
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	統計学を履修していること		
7. 講義概要	<p>心理学を修める上で、統計学の知識は、データを正しく扱い読み取るために必須の教養のひとつである。本講義では、統計学に関する正しい知識を習得するとともに、データを収集し、分析し、結果を読み取る能力を身につけることを目標とする。</p> <p>本講義は、「統計学」の講義に継続する内容として、実際にデータを収集し、統計ソフト(SPSS)を用いて、「統計学」で習得した記述統計を実施するとともに、各種の統計的仮説検定の実際について学ぶ。</p>		
8. 学習目標	<p>代表的な統計処理について自ら統計ソフト(SPSS)を用いて実践することで、基本的なデータの扱いと読み取り方法を習得する。具体的には、以下の4点を目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究目的に合わせたデータを収集し、統計処理を行うことができる。</li> <li>2. データに合った解析法を選択できる。</li> <li>3. 選択した解析法を、統計ソフト (SPSS) を使って実施し、結果を読み取ることができる。</li> <li>4. 解析結果をレポートとして記述する基本的な手順を理解し、説明することができる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	授業内および授業外にデータ解析に関する課題を適宜行うことがある。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】山田剛史・村井潤一郎『よくわかる心理統計』ミネルヴァ書房 2004 (※統計学と同じものを使用します。持参してください)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①研究目的に合わせたデータを収集し、統計処理を行うことができるか</li> <li>②データに合った解析法を選択できるか</li> <li>③選択した解析法を、統計ソフト (SPSS) を使って実施し、結果を読み取ることができるか</li> <li>④解析結果をレポートとして記述する基本的な手順を理解し、説明することができるか</li> </ol> <p>○評定の方法：</p> <p>受講態度、演習への取り組み、期末レポートから総合的に評価する。</p> <p>授業への参加・受講態度：30%</p> <p>課題達成・レポート：40%</p> <p>小テスト：30%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計学を履修していることを前提に講義は進められますので、よく復習しておいてください。</li> <li>・講義は毎回の積み重ねです。前回の内容理解を前提に講義は進められます。</li> <li>・授業中に無断で途中退出することは原則禁止します。</li> <li>・コンピュータを使用します。講義時間外にも積極的に触って操作方法の習得に努めましょう。</li> </ul> <p>※統計で困ったことになった2年生以上の上級生、大学院生の聴講も歓迎します。</p>		
13. オフィスアワー	初回講義時に説明する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション：春期の理解度の確認	事前学習	テキストの入手，統計学の学習内容の復習
		事後学習	授業で使用した統計学の課題の復習
第2回	記述統計：データ入力，尺度水準	事前学習	尺度水準についてテキストの該当部分を読む
		事後学習	講義内容の復習と練習問題(尺度水準)
第3回	記述統計：度数分布	事前学習	度数分布についてテキストの該当部分を読む
		事後学習	講義内容の復習と練習問題(度数分布)
第4回	記述統計：代表値と散布度	事前学習	代表値と散布度について調べておく
		事後学習	講義内容の復習と練習問題(代表値，散布度)
第5回	記述統計：変数の変換（標準化など）	事前学習	標準化についてテキストの該当部分を読む
		事後学習	講義内容の復習と練習問題(標準化)
第6回	相関係数とその検定	事前学習	相関係数についてテキストの該当部分を読む
		事後学習	講義内容の復習と練習問題(相関係数)
第7回	予測と回帰／回帰分析	事前学習	回帰分析についてテキストの該当部分を読む
		事後学習	講義内容の復習と練習問題(回帰分析)
第8回	連関係数とその検定	事前学習	連関係数についてテキストの該当部分を読む
		事後学習	講義内容の復習と練習問題(連関係数)
第9回	対応のある t 検定	事前学習	対応のある t 検定について調べておく
		事後学習	講義内容の復習と練習問題(対応のある t 検定)
第10回	対応のない t 検定とその前提となる等分散性の検定	事前学習	対応のない t 検定について調べておく
		事後学習	講義内容の復習と練習問題(対応のない t 検定)
第11回	一要因分散分析の基本的な考え方： モデル，仮説の立て方，主効果，多重比較	事前学習	分散分析の基本的な考え方について調べておく
		事後学習	講義内容の復習と練習問題(仮説の立て方)
第12回	一要因被験者間分散分析	事前学習	分散分析表の見方について調べておく
		事後学習	講義内容の復習と練習問題(一要因分散分析 As)
第13回	一要因被験者内分散分析	事前学習	分散分析表の見方について調べておく
		事後学習	講義内容の復習と練習問題(一要因分散分析 sA)

第14回	二要因分散分析と交互作用の分析	事前学習	二要因の分散分析表について調べておく
		事後学習	講義内容の復習と練習問題(交互作用)
第15回	心理統計法のまとめ	事前学習	これまでの学習範囲をまとめておく
		事後学習	講義内容の復習と練習問題(レポートの書き方)
期末試験			